



畜産研通信

平成28年度第1号

畜産研究所基本方針

http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp/INTRODUCTION/280401/H28_kihonhoshin.pdf

岐阜県畜産研究所では「県民に対する安全・安心・健康な畜産物の提供と岐阜県畜産ブランド製品の振興」を最重点課題として位置づけ、関係機関と緊密な連携をとり、1. 生産性向上のための家畜の育種改良の推進、2. 畜産新技術の開発、3. 畜産環境改善を中心とした研究開発に取組み、その成果を踏まえた技術支援により県内畜産業の振興を図ります。

平成28年度はつぎの研究を実施します

http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp/INTRODUCTION/280401/H28_kadai.pdf

1 生産性向上のための家畜の育種改良の推進

- ・肉質評価技術の確立と飛騨牛らしさ追求による品質向上【飛騨牛研究部】
- ・既存の育種技術にDNA情報を組み込んだ新たな改良手法の実用化研究【飛騨牛研究部】
- ・飛騨牛の生産性を高める遺伝的手法の開発【飛騨牛研究部】
- ・性選別精液を活用した乳用牛雌受精卵の大量生産技術の確立に関する研究【酪農研究部】
- ・機能性霜降り豚肉の増産技術と加工品の開発【養豚・養鶏研究部】 **NEW**
- ・高能力種豚集団の維持増殖に関する研究【養豚・養鶏研究部】
- ・ゲノム情報を活用した家畜の革新的な育種・繁殖・疾病予防技術の開発【養豚・養鶏研究部】
- ・ポーノブラウンを利用した銘柄豚の霜降り率の向上と格付評価手法に関する研究【養豚・養鶏研究部】
- ・ゲノム情報を活用した改良型肉用奥美濃古地鶏の開発研究【養豚・養鶏研究部】
- ・高能力な肉用奥美濃古地鶏原種鶏群の維持・改良に関する研究【養豚・養鶏研究部】 **NEW**

2 畜産新技術の開発

- ・受精卵遺伝子診断技術及び受精卵の新規凍結技術の開発【飛騨牛研究部】
- ・和牛子牛の初期発育改善のための育成管理技術の確立【飛騨牛研究部】
- ・黒毛和種肥育牛における岐阜県版飼料用米給与技術の確立【飛騨牛研究部】
- ・血中因子を指標とした効率的な肉用牛肥育方法の開発【飛騨牛研究部】 **NEW**
- ・牛肉の食味特性に関与する香气成分の特定【飛騨牛研究部】 **NEW**
- ・ルーメン発酵の健全化による生産性向上に関する研究【酪農研究部】
- ・高糖分飼料稲「たちすずか」の消化特性と乳牛への給与に関する研究【酪農研究部】
- ・飼料分析データ等を活用した自給飼料の品質向上に関する研究【酪農研究部】
- ・農耕地等における除草剤適応性研究【酪農研究部】
- ・夏季低受胎の改善による生産性向上技術の開発【養豚・養鶏研究部】 **NEW**
- ・飼料用米を中心とした自給飼料を活用した高付加価値豚肉生産技術の開発【養豚・養鶏研究部】 **NEW**
- ・国産豚肉差別化のための「おいしさ」評価指標と育種改良技術及び飼養管理技術の開発【養豚・養鶏研究部】 **NEW**
- ・採卵鶏と特殊卵用鶏への飼料用米長期給与方法および飼料用米多給時の卵黄色改善手法の確立【養豚・養鶏研究部】
- ・飼料用米を利用した産卵鶏の卵質向上技術の実証【養豚・養鶏研究部】 **NEW**

3 畜産環境改善

- ・アンモニアリサイクラー回収硫酸液を利用した高付加価値液肥製造技術の開発【養豚・養鶏研究部】

家畜改良並びに種畜供給のためつぎの事業を実施します

飛騨牛改良事業【飛騨牛研究部】

造成された優秀な種雄牛の凍結精液を製造・販売するとともに、有効利用のための技術支援を行う。また、安福系雌牛の系統繁殖を実施し、その中から高能力種雄牛や雌牛の生産を行うこと等により、飛騨牛ブランドの維持発展に資する。

飛騨牛産肉能力検定事業【飛騨牛研究部】

飛騨牛ブランドを支える高能力種雄牛を造成するため、種雄牛候補牛の産肉能力検定を行う。

家畜性別別胚供給事業【酪農研究部】

畜産研究所内の高能力乳用牛から採取し、雌雄判別した雌胚を譲渡する。県内農家の乳用牛から採取された牛胚を性別判別する。

家畜人工授精事業【養豚・養鶏研究部】

養豚農家の経営安定を図るため、優良種雄豚の人工授精用精液を生産し、希望農家へ有償譲渡する。

お知らせ

卵用奥美濃古地鶏を6月29日に譲渡します

養豚・養鶏研究部

卵用奥美濃古地鶏は年1回、関試験地に於いて定期譲渡を行い、今年度は6月29日(水)です。当日は「卵用奥美濃古地鶏飼養衛生管理研修会」を開催しますので、譲渡申込の皆様はご参加ください。また、関係者の皆様も是非ご出席ください。



孵化したばかりの卵用奥美濃古地鶏

4月27日(水)に譲渡用のひなが孵化しました。雌雄鑑別を行い、ワクチン接種をして、育すう舎で餌付けを行いました。定期譲渡に申込をいただいた皆様、ありがとうございます。これから大切に飼育して譲渡しますので、今しばらくお待ちください。

現場後代検定枝肉研究会の開催予定

飛騨牛研究部

種雄牛候補牛の産肉能力検定に係る枝肉研究会の今年度の開催予定はつぎのとおりです。

- 孝隆平 平成28年11月
- 慶清福 平成29年1月
- 景鶴7 平成29年3月

岐阜県畜産研究所

〒506-0101高山市清見町牧ヶ洞4393-1

Tel0577-68-2226 Fax 0577-68-2227

ホームページ <http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>